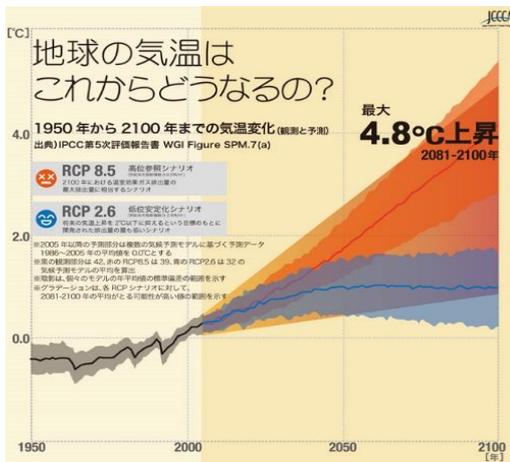


かけがえのない地球を 未来の世代へ

いま地球は温暖化が進み、深刻な被害が増えています

地球の平均気温は、産業革命以降 1°C 上昇しています。特に 1990 年代以降上昇が顕在化し、このままでは 2100 年には最大 4.8°C 上昇すると推測されています。 気温上昇により豪雨災害や猛暑のリスクが高まり、世界で森林火災の増加や海面上昇・干ばつ・多くの生き物の死滅など深刻な被害が起きています。

2°C 上昇すると、サンゴ礁が 99% 消失すると予測され、他の生物種も絶滅リスクが高まります。人類の存続も危ぶまれます。



2020年熊本豪雨 mainichi.jp

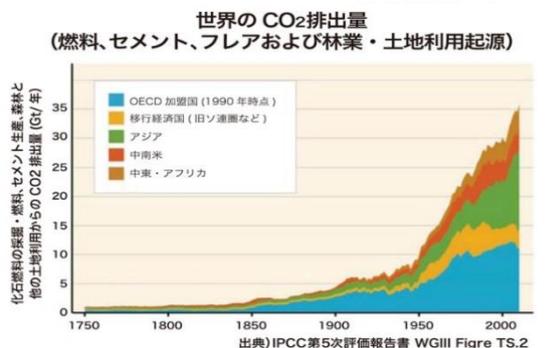
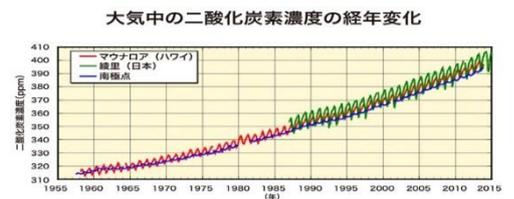
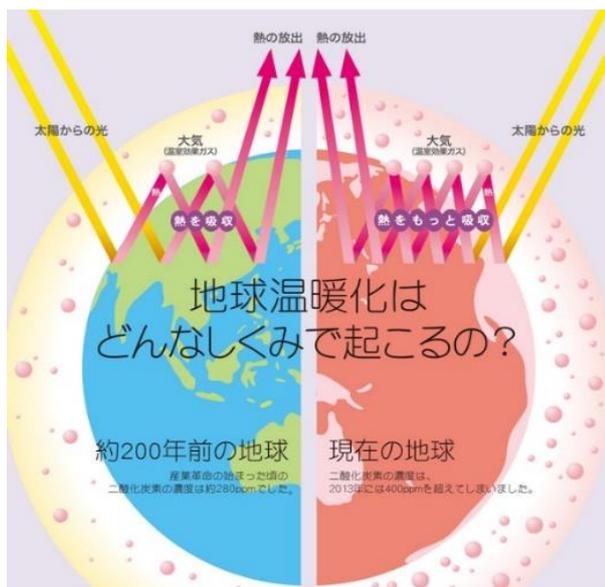


2018年カリフォルニア火災 natgeo.nikkeibp.co.jp

原因は温室効果ガスの増加の可能性が極めて高い

二酸化炭素(CO₂)やメタンなどの温室効果ガスの増加は、太陽エネルギーの大気中での吸収を増やし気温を上昇させます。 温室効果の割合が最も大きいCO₂の濃度は産業革命前の280ppm(0.028%)から410ppmまで増加しています。

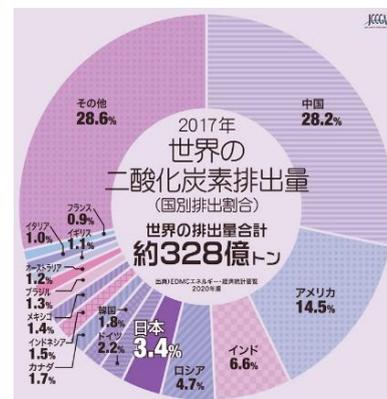
CO₂は石炭や石油などの化石燃料の燃焼で多く発生しています。日本の2017年のCO₂排出量は約12億トンです。1人당りに換算すると約9トンで、世界平均(約4トン)の2倍



を超えています。

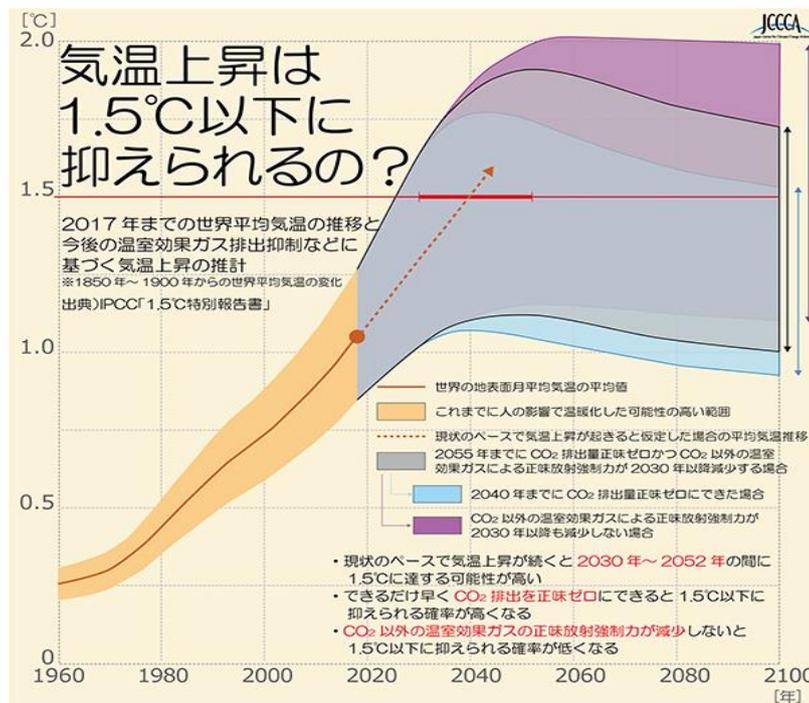
世界中で対策を実施・計画していますが、目標との隔たりは かなり大きい

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)では、(人類存続のために) 気温上昇を 1.5℃に抑える目標を立て、「世界の人為的な CO₂ の正味排出量を、2030 年までに 2010 年水準から約 45%削減し、2050 年前後に正味ゼロにする。」必要があると唱えています。各国の 2030 年の CO₂ 排出量の目標値を合わせても現状より逆に増加傾向であり極めて厳しい状況です。このままでは、環境はますます悪化し、経済も成り立たなくなるでしょう。



私たちにできることは

- IPCC や環境省などから発信されている確かな情報を得ましょう。
- 地球温暖化が確実に進行しており、将来世代のために、脱炭素化に向けた新しい社会システムや生活様式が早急に必要であることを理解しましょう。
- 温室効果ガスの削減に協力しましょう。
 - (1) 節電をしましょう。
 - (2) 自動車を控え、自転車・バス・電車を利用しましょう。
 - (3) 水道やガス・灯油も節約しましょう。
 - (4) 生産から運搬・使用・廃棄まで CO₂ 排出量の少ないものを購入しましょう。
 - (5) 地元産で旬の農作物を選んで食べましょう。
 - (6) ごみは極力少なくし、食品ロスも減らしましょう。
 - (7) 物を大切に使い再利用やリサイクルを心がけましょう。
 - (8) 浄化の負担となる生活排水を極力少なくしましょう。
 - (9) 森林は CO₂ を吸収するので、大切にしましょう。
 - (10) CO₂ 削減に取り組む企業や団体を支援しましょう。



以上の図表は J C C C A のウェブサイトから引用しています



これからの世代に「生存可能な環境」を残すため、大量生産・大量消費・大量廃棄の便利で快適なライフスタイルを見直しませんか？ 私たち一人ひとりの行動がたいせつです。